

NPO法人：『すずしろ 22』 は [八王子の大地] を 応援します

農業発展のお役に立ちたいと願っているグループです。

活動は [援農ボランティア — 人的応援] と [援農プロジェクト — 農地活用] そして [地産地消 — 料理教室] の三分野です。
活動のその先に「食料自給率の向上」「農耕文化の継承」「環境保全」「教育・福祉への貢献」等のキーワードで表現される世界もみえてくるものと考えます。

援農ボランティア

- 農作業に応援者として 参加します。
- ① 農家と市民 — 会員間相互扶助の考えです。
- ② ボランティア精神を大切にしながらも 責任・継続・対等性の三面への思いから 有償活動で 参加します。
- ③ その謝礼は 500 円/時間
農家:570 — 運営費:70 =市民: 500 円

『 人材 - 農家需要と 市民意欲の マッチング 』
「大空の 下に小さな 種をまく」(朝日)



農地活用プロジェクト

- 農地活用・農地保全を 目指します。
- ① 市民農園の開設・運用に取り組みます。
特定農地貸付法の適用事例を創出しませんか。
- ② 農作業受委託方式により 農家の計画・指導・管理のもと 主体的に活動します。
- ③ 環境・景観の保全に寄与させて下さい。

『 農地 - 食と 潤と 未来を 保全 』
「種まきし 大地 鼓動を始めけり」(朝日)



地産地消 活動

- 生産野菜の活用に 協力します。
- ① 料理教室を 定期的 に開催しています。
- ② 新鮮・安全・生産者の顔が見える野菜を 地域消費者に提供させて下さい。
- ③ 流通ルートの短縮 ・ フードマイレージ 「輸送コスト・エネルギー」に関心があります。

『 食材 - 三里四方 八王子産の旬鮮野菜を食卓へ 』
「大根の 豊かな白を 干しにけり」(讀賣)



「 すずしろ 22 」 : すずしろは大根 大地の豊かなめぐみの象徴 22 世紀につなげる農業をともに考える会